

EU

フィルムデーズ

関連企画

会場：同志社大学
寒梅館クローバーホール
入場無料

THE OUTSIDERS 1

6/7 (火)

16:30 開場

17:00 ~

『Flat Jungle』

※日本語字幕なし/英語字幕あり 当日解説書配布
(1987/オランダ/90分/オリジナル16mm)
監督：ヨハン・ファン・デル・コイケ
音楽：ウィレム・ブロイカー

日本初上映

オランダからドイツとデンマークにまたがる
ワッデン海岸は豊かな自然環境を誇りながら
も原発誘致や環境汚染の影に脅かされている。
漁業、農業、歴史、産業…さまざまな文脈と
人々を追いつながら、経済的・テクノロジー的
発展にゆらぐ土地と人々の姿を描く。

18:45 ~

トーク：赤坂太輔氏(映画評論)

●プロフィール

1965年生。1997年、99年にアテネ・フランセ
文化センターで「ポルトガル映画講座」をプロ
デュース、ペドロ・コスタ、モンテイロらを紹
介。2008年より立教大学講師。
<http://www.ncncine.com/>

19:30 ~

『Die Nordkalotte』

※日本語字幕なし/フランス語字幕付き 当日解説書配布
(1990/ドイツ/90分/オリジナル16mm)
監督：ピーター・ネストラー
撮影：マンフレード・シュミット

日本初上映

チェルノブイリ原発事故直後のラップランド
の記録。山中から海岸へと下りながら、美し
い風景の中で、次第に衰退する伝統的な人々
の生活は大規模な工業化にとってかわられて
いき、環境破壊や汚染に苦しむ人々の姿が見
出される。

THE OUTSIDERS 2

6/14 (火)

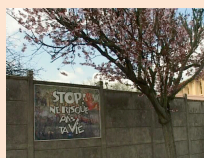
17:30 開場

18:00 ~

『時の擁護』Verteidigung der Ziet

※日本語字幕なし 当日解説書配布
(2007/ドイツ/27分)
監督：ピーター・ネストラー

日本初上映

ストロブ＝ユイレに「ドイツ最大のドキュメンタリー映
像作家」と称えられたピーター・ネストラーによる故ダニ
エル・ユイレへの追悼映画であり、ストロブ＝ユイレの
作品の紹介でもある作品。


『ヨーロッパ2005年、10月27日』

Europa 2005-27 octobre
(2006/イタリア/21分/フィルム提供：アテネ・フランセ文化センター)
監督：ジャン＝マリー・ストロブ、ダニエル・ユイレ

ストロブ＝ユイレが初めてDVを用いたシネトラクト。
イタリア国営放送の委嘱により2006年春に撮られた。警
官に追われて変電所に隠れていた15歳と17歳の移民少
年が感電死したクリシーヌ＝スボアの事故現場を撮影する。
この事故が各地の暴動のきっかけになった。


『ジョアシャン・ガッティ』

Joachim Gatti
(2009/フランス/2分/フィルム提供：アテネ・フランセ文化センター)
監督：ジャン＝マリー・ストロブ

2009年7月8日、34歳の活動家、映画作家ジョアシャン
・ガッティはモントルイユでデモ活動中、警官にフラッシュ
ボールのゴム弾で撃たれ、片目が破裂し、視力を失った。
本作では、事故以前の彼の写真にルソーのテキストがかぶ
さる。

19:00 ~

『コルネイユ＝ブレヒト』

Corneille-Bracht
(2009/フランス/計78分 ※26分×3/バージョン)
/フィルム提供：アテネ・フランセ文化センター)
監督：ジャン＝マリー・ストロブ
撮影：クリストフ・クラヴェール

副題「ローマ、私が恨む唯一のもの」。コルネリア・ガイザ
ーがコルネイユの「オラース」第4章第5場と、「オトン」
の短い一節を読む。その後、ブレヒトのラジオ劇、「ルクル
スの審問」が読まれる。編集の異なる3ヴァージョン上映。

お問合せ

同志社大学今出川校地学生支援課

Tel: 075-251-3270

E-Mail: ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp
<http://www.doshisha.ac.jp/students/support/kaprog/clover>

ポイントを貯めて
素敵な特典を
GETしよう!!